

ふたなり

紗羅 ちやん

夢中えっちで

脱●聖貞♥

成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

futanari
sara-chan
muchu ecchi de
datsu-doutei.

電子版

私の名は九条裳羅。

天領奉行の将領として
日々稲妻の治安維持に
務めている。

股間に男性器が
付いてしまっていた…

な、何か
違和感が…

な…ッ!?

稲妻領内に突如出現した
謎の秘境を探索する為、
旅人、將軍様と共に
向かうと…

桃色の光を放つ
アビスの魔術師と
遭遇した。

ビビビビ

まんまとアビスの
秘術を喰らい、

目が覚めると…

いたまん

裳羅あゝ!

裳羅く!
大丈夫か!?

性器…の他に
おかしい箇所は
ありますか？

あ…ッ

いえ！
支障なく、動け…

ま、す…

…？

將軍様の身体を前にした瞬間、
下半身が熱く、ジンと重くなったような
心地がした。

白く瑞々しい肌…肉付きの良い太腿…
女性的で柔らかな身体の曲線を辿るように
自然とそのまま太腿の奥へと視線が動き…

普段と変わらない御衣裳のはずが、
惜しみなく曝け出された豊富な胸元に
妙に胸がざわつき、つい視線を向けてしまう。

触れた時の感触を想像し、
ゴクリと唾を飲み込んだ。
(それを不敬だと思っ隙も無かった)

九条娑羅？
どうしました？

ハッ！！

も、申し訳ございません
不躰に、じろじろと…

あやあや

ほろほろ

おろおろ

ほろほろ

あち

あち

あち

くら…

くら…



な、何だ今の
のぼせたような
感覚は…!!

呼吸の乱れ、発汗症状、
頬の赤らみがあります。

一度
引き返し
ましょう。

さっきのアビスが
やったのか!? あいつ
もう居ないぞ!!

あの…ツ
探索続行は
困難かも、
しれませんが…

だんせいきって
なんだあゝ!!

パイモン、
後で説明するから。

あゝ
あゝ

混乱中



綾羅自室

今日は
ひとまず
ゆっくり休め!

スーッ

はあ…

ご迷惑をおかけして
しまった…

ア…

不甲斐ない…

トサ…

ほ…

いや、
先の心配より
まずは…

スル

アビスの魔術師の消息は
旅人が追うと言っていたが、
そうすぐに見つかるだろうか…

この勃起した性器を
鎮めるのが先だな…♡

ポロリン♡

將軍様を見でから
ずっとこの調子で…♡

こう…
擦ればいいのか？
ん…♡はあ…♡

目を閉じると
自然と將軍様のお姿が
浮かんでしまう…♡

んっ♡これは…ッ♡
すぐにでも射精して
しまいたいそうだ♡
はあっ♡はあっ♡

將軍様♡
申し訳ございません♡
このまま♡
貴方様の事を考えながら
射精して♡しまいたいそうです♡
ああっ♡あっ♡

駄目だ…ッ♡

あっ♡
あっ♡
もう♡

翌日。
アビスの魔術師捜索は、
引き続き旅人達に任せ、

私と將軍様は
ヤシオリ島の
フライム討伐を
担っていた。

粗方片付いた
ようですね

はい…

倒された
フライムたち

きゅ〜ッ

戻りますか

そうですね…

ぐぐぐ…
將軍様を前にすると
また昨日のように
勃ちそうに…
ムラ ムラ ムラ ムラ

気を散らさなければ…

まだ残りが
いるかもしれません
廃屋の方も
確認して参ります

……

ふう…
はあッ

落ち着くまで
少しここに
居ようか…

綾羅

わあ!!
しよ、將軍様!!

ぬッ

わーッ!!



あああ…

ぽろん♡

ドキッ

あっ♡

…勃起して
いますね

ふ、
触れては
穢れますッ



あれから経過は
どうなのですか？

と、特に変化は
ございませんが…ッ!?

患部を
見せてください

お、
お見苦しいものを
お見せする訳には…!

な、なな、
何を…!?

ゴッゴッ



昨日からずっと
このような状態
なのですか？

し、將軍様が
触れている…!?

あ♡、
いいえ…

に、女体の素肌を見ると
このように…
なりやすい、というか…

…今勃起しているのは
私の姿をみて

性的興奮が惹起されたから
という事でしょうか？

この状況は
一体…!?

う、あ、
は、はいい♡

申し訳
ございません…ッ♡

辛いでしよう

いえっ
そんな……!

仕方ありません

私が原因なのであれば
責任持って処理します

!?

な、な、
何故、今、
このような状況に
なっているのか…!?

んんッ♡

く…ッ♡

こんな、野外で
下半身を
露出しながら…ッ

將軍様に
慰めて頂ける、
なんて…♡

♡♡

あの
將軍様が…

うあ♡

あっ…♡

駄目です
…ッ♡

は、離して
ください…♡♡

私に
触れていると
思うだけで

ツああ♡♡

すぐにでも…♡

…♡♡

あの時私が
庇ったからといって、
貴方様が

責任を感じる必要は

將軍様！



お下がり
ください！



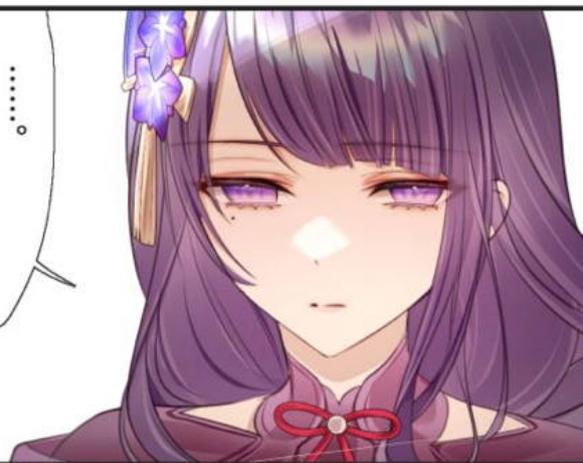
裳羅…！

無いのに…



……。
まだ勃って
いますね

え!?!
あ、すみません
何度か抜かないと
収まらず…



裳羅

いますか



スパーン

夜
裳羅自室





日中はあまり
手伝えません
でしたから
続きを
しようかと

そんな...!?



し、將軍様!?

ヒカッ



な、何故...?

ヒカッ



謝らなくても
よいですよ

ありがとう♡

す、すみません
こうなってから
夜は大体こうで...

ああ、既に
勃っていますね

むしろ
好都合です



あっ…

ちゅ♡
んむ♡

あう…ッ♡



もぞ♡

状況が
全く掴めなかった。

はむ♡

ん♡

ちゅ♡

うっ…♡

將軍様は
何を考えて…



っああ♡

突き出された舌で
裏筋をペロペロと
舐められてしまう感触に
何も考えられなくなつた。

んああっ♡

くちゅ♡

ああっ♡
深い♡

將軍様の♡
お口の♡
中♡
暖かい♡

そんなっ♡
一気に♡
舐め回されては♡

ふちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡



ザッ

ははは

じゅる

あああ…♡



びびり♡
びびり♡
あるある
あるある
んああ♡
んああ♡

強く吸いながら
引き抜くの♡♡
気持ちいい♡♡



あ♡

いいききょう
です…♡

あう♡

え…?

あ、あれ…?

そんな…
もう少しで
イけそうだったのに…?



スルッ

お
は
い

挿入れて
ください…

………

トロ…♡♡

じゅわん♡

家臣である立場も忘れ、
吸い寄せられるように
私は將軍様を組み敷いた。

ジュレツ

ギズッ

あ…

ビビッ…

ズズ

ビキ…

痛いほどに
勃起した性器の
爆発しそうな衝動に
抗うことなく、

美しい身体に
目が釘付けになった。

カアアア

ドッ
ドッ
ドッ

早く挿れたい
欲にまかせ
性器をあてがうと、

はあっ!!
はあっ!!
♡♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

めりこんだ亀頭に
ちゅうう♡♡と吸い付く
ような感触がした。

んっ♡
んっ♡
んっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

あっ♡

んうう♡

っああ♡

少し力を入れただけで
ずぶずぶ♡♡と抵抗なく
挿入っていくのに反して、
將軍様の膣内は
きつく性器を締め付け…

んっ♡
んっ♡
んっ♡

その頭が蕩けるような心地に
夢中になり、気付くと

んっ♡
んっ♡
んっ♡

ああん♡

ぶちゅん♡♡と
一気に挿入していた♡

ひう…♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡



男性器の使い方など
わからなかったがツ、
自然と腰が動く♡

ああ、將軍様♡
なんて淫らな♡

將軍様も
気持ちよさそう…♡

あっ♡

あんっ♡

あんっ♡

あっ…♡

~~~~♡

んっ♡

あっ♡  
あっ♡

あっ♡



衝動のまま  
腰を垂直に落とし、  
ピストンを繰り返し返す♡

夢中でぶちゅぶちゅ♡と  
腰を打ち付けた♡

あっ♡

ふっ♡

はっ♡

あんっ♡

あんっ♡

あっ…♡

あんっ♡

あっ…♡

あっ♡

はあっ♡



あっ♡



もしかすると、

將軍様は  
欲求不満だったの  
だろうか？

んっ♡

ちゅう♡



ん♡

ちゅ♡

夜加相手を  
探していたので  
あれば...

はっ♡  
それなら  
納得がいく♡

はっ♡  
はっ♡

選ばれたのなら  
精を尽くさねば♡

あん♡

ん♡

はっ♡  
はっ♡  
はっ♡

ん♡

おっ♡

はっ♡  
はっ♡  
はっ♡

ん♡

おっ♡

はっ♡

ん♡

はっ♡

はっ♡

あひ♡

それ♡  
しゅ♡

將軍様にご満足  
頂けるように♡

私の  
身体全てを  
使って  
悦ばせたい♡

はっ♡

あ♡!





ツ私も♡♡  
射精ます…!♡

あ♡♡  
♡♡♡♡♡♡

らひて♡  
娑羅もお…♡

おっ…♡

っっ…♡

おっ♡

♡♡♡

あ…♡

んあっ…♡

お…♡  
カクッ

カクッ

カクッ

びる♡

びる♡

びる♡

ああ♡♡♡  
♡♡♡♡♡

びる♡



何も  
考えられなく  
なるほど  
気持ちの良い  
射精だった…♡

はあ…♡

はあ…♡

はっ…♡

はあ♡

はあ♡

くたあ

めいぼ

かっ♡



將軍さま…  
ごまんぞく

ただけ  
いただけ  
ました

か…?

なんだか  
急に  
眠気が…

こんな状況の  
私でも…  
お役に…

フワッ

トサッ

!



ん…  
すみ、ませ…

ギョッ

…  
…  
休んで  
ください

…  
…  
臍内に  
出すと  
落ち着く  
というのは  
真だった  
ようですね…

八重神子に  
感謝しなければ…

数日後

おーい

おおーい  
袋羅く!

雷電將軍くツ!



ああ、  
お前たちか  
……経過は……?

それが……まだ  
例のアビスは  
見つからないんだ

そうか…

そっちはどうだ?  
大丈夫か?

あ、ああ  
元に戻った  
訳ではないが…

その…

將軍様の  
ご助力もあって  
何とか……

ごじよりよく?  
ってなんだ?

たじ…







ええ？  
他の人が  
同じ目にあったら  
大変だろ？  
ちゃんと行って  
ほしいぞ！  
何したんだ？

何と説明  
したらいいか…  
いや、そもそも  
お前達に  
言ってもいいのか…

そう、だな…

モゴ…モゴ…

娑羅ちゃんって雷電将軍が実はお人形だとか影ちゃん関連とか、その辺の事情を恐らく何も知らないんだよな(ですよね…?) 本編でその辺知る展開が欲しいな…きたら熱いな…

この本の中で描写はしてませんが、雷電将軍が「女性器付けてほしい」と頼み込んでそれを汲んだ影ちゃんが一晩かけてジョバンニの如く付けてくれた経緯があるはずで、それを考えるとこの本の雷電将軍はめっちゃ娑羅ちゃんのこと好きなんだな～と思います(あまり描写してませんが…) すぐ両想いになれそうだな 幸せカップルだな

え？うまくいったのか？  
あれで？なんでやねんか？  
草じゃの？



雷電将軍が珍しく相談に来たので  
適当に助言してあげた八重神子

発行 シャンデガ  
発行日 2022/8/14  
印刷 グラフィック様  
pixiv 13607508  
twitter @dega1028  
mail iii704919@gmail.com  
表紙デザイン おがわ様(sukima ID161589)

無断転載・転用・ネットオークション等への出品を禁止します。



Genshin unofficial fanbook #01 Shandega  
2022.08.14

*Kujo Sara*



*Raiden Shogun*